

学校行事って本当に素晴らしい

校長 佐久間 章匡

10月に入り季節は少しずつ秋へと移ろい、朝夕にはコオロギなどの虫の音がたくさん聞こえてきます。また、風も心なしか冷たい秋風を感じるようになってきました。この季節の変化に伴うように、学校はこの10月が一年間の折り返し地点。この節目に、これまでの教育活動を振り返り、教育目標の達成状況を確認しつつ、PDCA検証サイクルの考え方の下、日々工夫・改善を図っていかねばならないと決意を新たにしています。保護者、地域の皆様方におかれましては、本校の教育活動の後半戦をこれまでと同様にご理解・ご協力いただきますとともに、季節の変わり目に体調を崩さないよう、どうぞご自愛ください。

さて、新チームとなって初めての公式戦である市民体育祭（新人戦）が9月に行われました。3年生の引退後、どの部活動も顧問の先生とともに新しい部長やキャプテンを選出し、チームや個人の目標を立て、これまで積み上げてきた練習の成果を存分に発揮しました。運動部活動の今大会では目標を達成した部活もあれば、目標に到達できなかった部活もあることでしょう。しかし、この新人戦は新チームとしての通過点に過ぎません。まだひと夏を越えたばかりの若いチームです。今後は新人戦を通して明らかになった課題、不足している力を分析し、次の大会に備えるだけです。個々のスキルアップを図り、チームとしての戦術に磨きをかけ、そして何よりも部活動を通じて仲間と協働することの楽しさを味わうことで、人間力を高められると最高です。また、自身のスキルアップを図るためには、個々の生活面を見直すことも大切。生活面は部活動の練習姿勢、試合でのワンプレーに必ず現われます。普段の学校生活をベースに、部活動を通じてそれらの力を育てることが必ず良い結果に結びつくものと考えます。今後も、一人一人が「志高く」互いに切磋琢磨する鳩中生であってほしいと切に願っています。

そして今度は10月5日（土）に開催される「体育祭」。今年度の体育祭も学年縦割りとし、黄・緑・赤・青の4色（団）の団対抗競技を行います。1年生から3年生までの異学年集団が一つになり、生徒が主体、特に3年生が牽引役となって優勝を目指して共に練習する中で、学年を超えた絆や団結力が高まります。体育祭練習のリーダーとなる3年生の背中を見た下級生は「私が3年生になったら、今の3年生のような団長になりたい」などの感想が聞こえてきます。また、今年度は「団対抗競技」だけでなく、「学級対抗競技」を導入します。これは学年を超えた絆を育てる他に、学級の団結力を高めるためのものです。今年度の学級対抗競技は大縄。団は学級が解体されバラバラになりますが、学級対抗はクラスのメンバーだけで取り組むもの。この学級対抗競技の時は団を忘れ、学級のために一致団結します。6組も交流学級の仲間と一緒に跳ぶ予定です。本校は特別支援学級設置校。この体育祭をはじめ、様々な場面で6組の生徒と通常級の生徒が共に活動することを通じて、両者にとっての経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育てるとともに、お互いを尊重し合うことの大切さを学ぶ機会にしたいと考えます。行事は子どもたちが健やかに成長するために欠かせない教育活動の一つ。学校行事って本当に素晴らしい。

おわりに、学校教育の醍醐味の一つは子どもたちの成長に関わり、子どもたちの成長を一番近くで見て、感じるができること。だからこそ、学校行事に工夫を凝らし、また鳩ヶ谷中学校独自にできることを模索し、家庭や地域の方々に協力をいただきながら特色ある教育活動を展開するとともに、子どもたちの健やかな成長を促し、支え、見守ってまいります。当たり前を当たり前と思わず、常に周囲や環境に感謝できる子どもたちを育成します。今後も本校教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。